



校報

わきいち

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

かけがえのないわたし かけがえのないあなた

ぴまなああ っぶいるあ たしここ りいとこ だよがと うこ にこ	なほこリ んかこん にににゴ もはが ないある ひとつ	いここリ っのの ぱい大 だんき ゴさ だけ	こリ こに を おひ くとつ	「リンゴ」 まどみちお
--	--	---------------------------------------	----------------------------	----------------



4年生では、本から自分の好きな詩を選んで、詩集を作り掲示しています。その中に、右の一遍もありました。選んだ理由を本人に聞いてみたら、りんごが好きだから、りんごの詩を集めたそうです。さらに、「後半の部分がよく分からないけど好き、いろいろ考える」と話していました。言葉のもつ温かさや力強さに魅力を感じて、意味を考えるきっかけを与えてくれたのかもしれませんが。

作者のまどみちおさんは、63歳の時この詩を発表し、15年後「リンゴ」を「ぼく」に置き換えて、『ぼくがここに』という詩を書いています。りんごを見て、自分の存在がかけがえのないものであることを自覚した作者もまた、りんごが好きだったのかもしれませんがね。

◇PTA授業参観・学年懇談へのご出席ありがとうございました

2月17日、今年度最後のPTA授業参観・学年懇談が行われました。直前の学年閉鎖のため、2年生は27日に延期となりましたが、昨年は授業参観が中止になったことを思うと、開催出来たことに安堵しています。当日は、保護者の皆様に、子どもたちの学習の様子や、この日のために準備してきた発表をご覧いただくことができました。



4年 十周年記念式歌「ありがとう」斉唱中



5年 カードトークン 質問カードは子どものお手製



6年 今、私は、ぼくは 自作スライドを基に発表



体育着・制服のリユース 希望者に渡すことができました

◇3年ぶり開催 新入生体験入学

2月2日、令和5年度入学に向けた説明会に合わせて、新入生の体験入学が行われました。いつもは、一番下の学年として扱われますが、昨年までは年長さんで、頼りにされていた1年生です。久しぶりに味わうお兄さん・お姉さんの感覚に、張り切ってがんばる姿を見させていました。



◇オンラインで健康観察

4年生では、学年閉鎖となっていた2日間、オンラインで健康観察を行いました。今後、学年閉鎖や一定期間の欠席・出席停止が見込まれるときに活用することを見越して、接続の状況や映像の状態を確かめるために実施したものです。結果を踏まえて、対応の仕方をさらに研修していきたいと思えます。

また、今回使用したTEAMSのシステムでは、子ども同士の会議室も簡単に作れることが分かりました。他のオンライン会議システムやスマホ等でも、同様の状態と思われます。リスクを避け正しい使い方を身に付けるため、オンラインシステム使用の際には、保護者に相手と目的を伝えることを指導しています。



第5回学校運営協議会の話から

令和5年度の学校運営協議会が開催され、授業参観の後、学校評価の説明を基に委員の皆様からは学校関係者評価をしていただきました。紙面の都合上一部要約してご紹介いたします。

★確かな学力の育成 学び合う知的な喜びを実現する教育活動の充実

- ◆ICT機器を用いた学習が授業内でよく行われており、難しい内容でも子どもたちに分かりやすく伝わっていると思った。各クラスとも活発な意見が見られており、先生たちのがんばりがよく表れていると感じた。
- ◆常に課題やめあてをしっかりと持って学習に取り組んでいる。読書の習慣付けも引き続きお願いしたい。
- ◆様々な個性を持っている子どもたちに対して、課題解決型や話し合い活動の充実などで、確かな学力を身に付けさせようという教師の姿勢が感じられる。
- ◆子どもが自然体で発言でき、教師との信頼関係が感じられた。
- ◆4・5年の県学習状況調査の成績【校報先月号掲載】が気になる。先生も子どもも大変だと思うが、タブレットやプリント・ノートでの家庭学習をしっかりとこなして学力を身に付けてほしい。(家にタブレットを持ってくる回数が少ないので)
- ◆新型コロナウイルス感染症予防をしながらの指導に大変難儀しているのを感じる。県学習状況調査の結果では、さらに力を注ぐ必要があるものの、子どもたちの生き生きとした学習態度には確かな成長を感じる。

★豊かな人間性の育成 豊かな心を育てる教育活動の充実

- ◆家庭、地域との連携を図りながらの心の育みを実践しようとしていることが経営全体から頼もしく伝わってくる。
- ◆人間を育むためには、「ふるさと」が一つの大きな基盤になると思うので、地域の方々との関わりをこれからも大切にしていってほしい。
- ◆学校の自己評価・保護者アンケートの結果から、親と教師がもっと話し合ったり連携できたりすることが望ましいのでは？と感じる。互いに補い合い、協力して子どもたちを見守り対話する機会が、来年度増えることを願う。
- ◆学習発表会では、子どものダンスを親も覚え一緒に踊っていたのを見て、家庭での練習風景が想像され微笑ましいことだと思った。

- ◆宿泊体験や学習発表会等、協力し合い、楽しく実施できてよかった。様々な活動を通して自己有用感を持ち、さらに自信を持ってもらいたい。
- ◆子どもは、本来お話を聞くことや絵本を読んでもらうことを好む。幼児期からそのような機会が多くあればよい。読書タイムを利用し、絵本や童話、昔語り等、耳から楽しむことによって、人の話を聞く力や心の安定、想像力等が育まれる一助になるように思う。
- ◆地域の先人に学ぶ授業の実施など、地域を大切に学習によく取り組んでいる。今後も地域を大切に学習を進めるとともに、地域との連携を強化していければと思う。
- ◆様々な縦割り活動を通して、いろいろな考え方に接する機会が多いことがよいと思った。

★たくましい心と体の育成 心通う生徒指導と健康で安全な生活を実現する教育活動の充実

- ◆新型コロナウイルスによる何度かの学年閉鎖もあったが、感染予防対策には十分配慮されていると思う。今後も、「明るいあいさつ運動」などの実施により、心の健康の向上に取り組んでほしい。
- ◆登下校や学校内の子どもたちの様子から、あいさつの声も大きく元気さを感じる。
- ◆体育の授業では、子どもたちが元気に躍動しており、いつも体力づくりに取り組んでいることが感じられた。
- ◆スポ少や、ネットゲームの利用が増加し、見えないところでの心の健康が心配になってきている。
- ◆想像力が育まれることによって、相手の気持ちを想像したり、相手の身になって考え理解したりすることにもつながるのではないかな。
- ◆「いこいの森」は脇一小の宝。自然の中で、のびのび遊んだり学んだりしてほしいと思う。
- ◆教職員が一丸となって一人一人の子どもの指導や問題解決に当たっている。保護者の願いに寄り添って育てていこうとする姿が見える。
- ◆いじめの認知件数34件が非常に気になる。悪いことは悪い、いじめは絶対ダメだとしっかり教えてほしい。
- ◆様々なストレスに対し、強くあってほしいと思うが、何より楽しく学校へ行けるということが、クラスづくりの際に大切だと感じる。
- ◆「夢見る学校」上映を心待ちにしていたが、集団での上映が叶わず残念だった。生きる力を育むために、少しずつでも個性やそれぞれの子どもたちの興味・関心、学習以外でも発揮できる様々な価値観・考え方を尊重し、自分らしく楽しくたくましく生きていってほしい。

おめでとうございます

★令和4年度男鹿市スポーツ賞

<奨励賞(団体)>

◎脇一野球少年団・潟西野球スポーツ少年団

◎脇本おいばな・船川くじらっこラグビースクール

<奨励賞(個人)>

◎4年 ○○○○(空手)

◎3年 ○○○○ 5年 ○○○○(柔道)

◇令和4年度PTA役員の皆様

ご協力どうもありがとうございました

学級懇談では新年度のPTA役員についても話し合われ、すでに役員候補の選出が終わっています。今年度も制限の多い中でのPTA活動でしたが、難しい条件下でご協力くださいました令和4年度の役員の皆様に深く感謝申し上げます。